

2016 ミニ・サーキットフェスティバル 規則書

12th Mini Circuit Festival

ピット・パドックについて（全クラス）

※毎年変更点や注意事項が変わる場合がありますのでイベントをスムーズに進行するためにも他のドライバーに迷惑がかからないようにするためにも規則所は必ず読み理解して下さい。

ピットレーン制限速度

- ピットレーンを走行する競技車両の制限速度は、40km/h とします。
速度超過の場合は、ペナルティの対象になります。

ピットレーン進入

- ピットレーンへの進入は右ウインカーを点滅させ、ピットレーン入り口より進入します。本コースからイエローラインカットはペナルティの対象になります。
- ピットレーンは一方通行です。特例を除き、バックをすることができません。バックギアを使用し、ピットレーンを逆走した場合は、そのチームは失格となります。
- 走行路は、一番コース寄りとします。ピットゾーンへの進入の場合、ピット最近部からピットゾーンへ向かってください。
- ピットレーン・サインガード付近では、安全のため、傘等を使用することはできません。

ピットアウト

- ピットアウトの際は、ピットエンドにいるオフシャルに従ってください。ピットアウトして、コースへ進入した時の第一コーナーは、必ずインベタで走行してください。
- ピットアウト時、特例をのぞき押しがけもできません。
- エンジンが始動しない場合、押しがけはできません。バッテリーなどを用意し、ジャンプコード接続によって始動させてください。

ピット内

- ピットは基本的に共有です。譲り合いながら、使用してください。
- ピット内において、高音、高熱を発する機器の使用は禁止します。
- ピット内は禁煙です。（火気厳禁）喫煙は灰皿が設置されている、喫煙スペースをお願いします。

ピット内作業

- スペアタイヤの本数制限はありません。
- 消耗品についても交換自由。他車に注意し、安全を確保した上で作業を行ってください。

無線機

- 無線機の使用は可能です。ただし使用は無線免許保持者のみとし、無線使用と周波数を事務局へ必ず届け出てください。他チームと周波数が重なった場合は、周波数変更をお願いする場合があります。

パドック

- パドック内で、車両テスト（ブレーキテストやウォームアップなど）は絶対に行わないでください。

グリッド及びスタートについて（耐久+スプリント）

- スターティンググリッドは、受付時に抽選で決定。（耐久）
- スプリントのグリッドは予選にて決定。
- グリッド整列時には、ご自分のチームの車両誘導にご協力ください。

スタート方法（耐久）

● 100 ラップ耐久レース ル・マン式

ドライバーは車両が整列されている、コースの反対側に待機します。この時ヘルメット、レーシングスーツ、レーシングシューズ、レーシンググローブは着用しています。車両側にはサポートクルーが一人待機します。フラッグタワーより、スタートの合図となる日章旗、またはグリーンフラッグが振り降ろされる、または、ブルーシグナル点灯でスタートとなります。コースの反対側に待機しているドライバーはスタートと同時に車両へ走り、クルーの手を借りながらシートベルトを確実に締めます。車両後方にオフィシャルがベルトの装着を確認し合図をクルーに対して行いますのでクルーが確認したらドライバーへ伝えエンジンをかけてスタートしてください。

※シートベルトが確実に装着されずオフィシャルが確認できない状態でスタートした場合5周減算となりますのでご注意ください。

● スプリントレース 12周

予選順にコースに整列し3分前にローリングを開始します。コースを1周し再び整列が全て整ったらシグナルランプが点灯しスタートとなります。

事前時間表示については当日のドライバーブリーフィングで説明します。

車両について（耐久・スプリント）

※998 チャレンジカップ参加車両は別レギュレーションになります。998 チャレンジオフィシャルホームページでご確認ください。

スプリントのみ1000ccクラスはノーマル・チューニングクラスが統合されます。

レギュレーションに関してはチューニングクラスに準じます。

車両装備（クラス分けや車両規定については別事項で確認してください）

- 4点式以上のロールゲージの装備を強く推奨します。
- ドライバー周りはロールバーパットの装着を強く推奨します。
- シートベルトは4点式以上のフルハーネスを装備してください。
- 内容量1.5kg以上の消火器を車載する事を強く推奨します。
- 燃料タンクを改造、変更する場合は、安全タンクへの変更のみ可です。その際、タンクスペースは、コックピットと隔離してください。
- 前後に牽引フックを必ず装備してください。装備されていない場合は、その他の部分で牽引する場合があります。車両にキズや損傷を与える場合がありますが、オフィシャル、事務局では責任を負えません。
- 競技参加に対して、適正な整備がされた車輛である事。オイル漏れ等には特に注意してください。
- インジェクション車両はフェューエルカットオフスイッチをジャンプ配線してください。
- ノーマルタンク車はガソリン給油口を、ビニールテープで巻く処置を、必ず行ってください。
- 雨の日の場合、ライトオンの指示が出ます。ヘッドライトは点灯できるよう、整備をしておいてください（ロービーム）。また、ヘッドライトの同時点灯は2灯までです。フォグランプ等の補助灯を使用する場合は2灯まで。ヘッドライトと合わせて4灯までです。

車両検査

- 車両検査はタイムスケジュールに記された時間内で、出向車検を行ないます。検査開始時間までに、テーピングなどの準備を済ませ、ボンネットを開けておいてください。
- ライト類のテーピングは、ライトリムまでかけるようにしてください。

テープは透明または半透明でプラスチックレンズも必ず張ってください。

ホイールのバルンサー、バッテリーのプラス端子、ガソリン給油口にもテーピングしてください。

- 計測器もビニールテープ等で、確実に取付けるようにしてください。破損、紛失の場合は実費を頂くこととなりますのでご注意下さい。
- レベルゲージをタイラップなどで抜けないように固定しておいてください。

ドライビングについて（耐久）

ドライバー数

- ドライバーは1チーム2名以上、登録されたドライバーは必ず乗車してください。ドライバーの変更の届け出がなく、乗車ドライバーの変更を行なった場合、失格となりますので気をつけてください。変更届けは、右隣のチーム及び事務局へお願いします。

ドライバーチェンジ

- ドライバーチェンジ時はエンジンを完全に停止させてください。ドライバーチェンジ時、ピットエリアに出て、窓拭き、エアーチェック等が行なえる作業員の数は、交代するドライバーを含め4名までです。

乗車時間

- 1ドライバーの連続乗車時間は、最低15分～最大50分までです。

マフラー音量について（耐久＋スプリント）

- 全ての車輛に、直管は認めません。消音器は必ず装着してください。
- 消音器が破損し、スペアへの交換できない場合、失格となる場合があります。この判断はサーキットによります。

給油について（耐久）

- 各チームは、必ず最低1回は給油を行なってください。

ガソリン携行缶

- 使用するガソリン携行タンクは、JAFレギュレーションに沿った、金属製のバルブ付きタンクを使用してください。ポリタンク等は絶対に禁止です。
- 給油ノズルは透明でワイヤー入りの耐油ホースを使用してください。
- ちなみに、透明でワイヤー入りの耐油ホースはホームセンターや水道屋さんで販売しています。ノズルとタンクをつなぐバルブも水道屋さんで手に入れます。また、モータースポーツショップ等でもバルブ付きのガソリン携行タンクは手に入れることができます。

給油方法

- ガソリン給油はピット給油です。
- 給油の際はエンジンを完全に停止させ、マフラー等からボディアースを取付けます（アースコードはジャンプコード等で大丈夫です）。一人がタンクを抱え、もう一人がコックとノズルを操作し、さらにもう一人が、給油要員のうしろで内容量1.5kg以上の消火器を噴射可能な状態で持ち待機します。
- 安全タンク装備車はサポートクルーがドライバーなどで、安全タンクの逆止弁を開きスムーズな給油を行なうようにしてください。
- 1回の給油量は20L以下です。
- 給油要員は全員が耐火マスク（ドライビングマスク可）、耐火服（レーシングスーツ可）、耐火グローブ（レーシンググローブ可）を着用してください。耐火グローブのかわりに軍手等の着用はできません。
- 給油時ピットに出られるには5名までです（ドライバー降車がある場合はそのドライバーも含みます）。
- 給油時のストップタイムはありません。
- 給油中はドライバー降車以外は一切の作業を禁止します。ドライバー乗車、窓拭き、エアーチェック等は給油消化した後可能です。※ 給油にてこぼした燃料は速やかに拭き取ること。
- **車検時に給油装備を確認しますが実際の給油時も装備等が不十分なチームや事務局が危険であると判断した場合は走行を取り消すことがありますのでご注意ください。**

ドライバーの資格（耐久＋スプリント）

ドライバーとしての心得

- ドライバーは普通運転免許証保持している方、JAF A・B ライセンス、サーキットライセンス等は一切必要ありません。ただし当イベントの趣旨に共感できる、大人のエントラントであることが必要です。
- ※ドライバーブリーフィングには、登録ドライバー自身が必ず出席してください。ブリーフィング会場にて出欠を取ります。ブリーフィングにはサーキットを安全に走る上で、絶対必要な項目が含まれます。不参加の場合、出走を取り消しにさせて頂く場合があります。また、当日のみの特別ルール等がある場合もブリーフィングで説明します。
- 体調が優れない等の場合は、無理はせず、リタイアをする勇気を持つことが、大切です。
- ドライバーはフラッグの色と意味を、記憶、理解していることが必要です。フラッグの色と意味を記憶、理解されていない方の走行はお受けすることが出来ません。

服装

- ドライバーの服装は、1 ピースまたは2 ピースの綿 100%のツナギ、指先までおおうグローブ、ヘルメット、運動靴が最低条件です。2 レイヤー以上のレーシングスーツ、グローブ、シューズを強く推奨します。
- ジェットヘルを使用する場合は4 輪用のみでフェイスマスクを着用してください。フルフェイスのヘルメットは4 輪用を強く推奨します。

チーム名登録、耐久ゼッケン登録について（耐久）

登録

- 先着順にて各クラス共、希望のゼッケンナンバー、チーム名を登録することが出来ます。
- 希望のゼッケンナンバー、チーム名がすでに登録されている場合は、他のナンバー、チーム名に変更していただくことがあります。

ゼッケン製作

- 登録ゼッケンはご自身の製作となります。事務局では用意しませんので、ご注意下さい。
- ゼッケン製作をする場合は、縦 30 c m以上、横 30 c m以上のゼッケンサークル内に納め、その中で可読性を考慮した上で、最大の大きさの算数字を用意してください。算数字の太さは2 c m以上をお願いします。
- ボンネット、両ドアには必ず取り付けてください。後方にも強く推奨します。

ビギナー&スポーツ、ヒストリック・スポーツ、レジェンド・チャレンジについて

- ゼッケンは事務局で用意します。

サーキットへの入場、駐車について（耐久＋スプリント）

車輛通行証

- エントラントステッカーは、エントリークラス表と共にサーキットへの入場証になっています。必ず入場前に、フロントウィンドウに貼り付けてください。
- エントラントステッカーのない車輛は、サーキットへの入場料が必要となる場合があります。
- また、サポートカーやトランスポーター用の車輛通行証も同様です。

パドックパスと駐車位置

- パドック内はエントリー車輛のみとなります。
- サポートカーやトランスポーターはエントリー車輛移動後、サポートカー及びトランスポーター用駐車場へ速やかに移動をお願いします。

その他

- サーキット内ではトランスポーターより競技車輛の降車を含め、エンジンへの点火をご遠慮ください。周辺住民の方への騒音公害となるばかりでなく、苦情により、イベントの運営そのものが危ぶまれます。また、遠方よりお越しの方が、受付時間まで仮眠をされている場合もありますので、ご注意ください。
- サーキットでは午前 8:00 より走行可能という指示となっています。つまり、それ以前のエンジンの空吹かしや、パドック、外周路、ゲート前スペースなどにおける走行や空吹かしを行わないようにしてください。

参加確認受付と計測器について（耐久＋スプリント＋スポーツ走行）

受付

- エントラントは指定された時間内に参加受理書をお持ちになって、事務局受付で受付を済ませてください（時間は別紙タイムスケジュールで確認してください）。
- 参加申し込み受付後、お送りする封筒が、参加受理書となります。忘れずにお持ちください。

計測器

- 計測器は、参加受理書と引き換えにお渡しします。必ずお受け取り下さい。
- 競技終了後は、すみやかに計測器の返却をお願いします。決勝終了 15 分以内の返却にご協力をお願いします。
- 万一、計測器を破損、紛失してしまった場合は実費を頂く事になりますのでお気をつけてください。

ハンディタイムについて（耐久）

※各クラスの本年度のハンディタイムは後日発表になります。
ホームページ等をご確認ください。

ペナルティについて（耐久＋スプリント）

※ペナルティ一覧は別紙にて配布いたします。必ず一読してください。

車両救助について

- コントロールタワーで車両回収指示が出た場合イエローフラッグと SC のボードをコーナーポストで提示します。速やかに競技を中断し安全な速度で走行してください。
この時点で追い越し禁止です。
セイフティーカーが先頭車両の前には回り周回しますのでセイフティーカー先導のもとピットロードに整列し車両回収のため一時競技を中断させます。
イエローフラッグ提示の中断時にピットでの作業、ハンデタイム消化、給油は可能ですが再スタートの際は最後尾に並んでいただきます。
赤旗の場合はピットに入ることもドライバーが降車することもできません。整列状態で待機し指示を待って下さい。
車両回収後セイフティーカー先導で1周ローリングをし再スタートとなります。
ピットレーン整列中は降車、整備または車に触れる作業は一切できません。
ピットにて作業中の車や競技中断中に列から外れピットインした車両は列の2列目（最後尾で再スタートさせるため）に着いていただきますのでオフィシャルの指示に従ってください。
車両回収状況によって変更される場合がありますのでオフィシャルの指示に従ってください。

保険について

- the 12th ミニ・サーキットフェスティバルでは、パドック、コース上において人身、および死亡事故が起こってしまっても、他の営利団体とはちがひ、非営利団体のため、金銭等をお出しすることができません。どうかご理解の上、各自の責任において、ご参加をお願い致します。

その他注意事項について

- その他の注意事項がある場合は、インフォメーション、または受理書で確認してください。
- 車輛より降ろした荷物などは、各自で管理してください。盗難、紛失の場合、事務局およびオフィシャルでは責任を負えません。
- パドック内やコース上において人身事故、および物損事故についても、事務局およびオフィシャルでは責任を負えません。
- パドックやピットレーンにはエントラントの応援の方や、小さなお子様もいらっしゃいます。ピットレーンでは制限速度を厳守し、パドックでは最徐行を心がけてください。
- お帰りの際はゼッケンを外し、ゴミなどはご自身にてお持ち帰りになるようご協力をおねがいします。
- 自宅に帰るまでがイベントです。安全運転でお帰りください。

持ち物

- 透明ビニールテープ
- ガムテープ（計測器取り付け等）
- コック付きの携行缶（耐久のみ）
- 消火器
- ジャンプコード（耐久のみ）
- ゼッケン（スプリント・耐久車両）
- 常備



2016年7月

TMME 東北ミニミーティング実行委員会